

地域猫活動支援の検証について

1 検証の目的

平成21年10月に「福岡市飼い主のいない猫との共生支援事業」により、地域猫活動を行う指定地区に対して専門的助言や情報提供並びに1年間の不妊去勢手術の無償実施等の支援を開始し、平成26年度末までに60地区を指定し1413頭の不妊去勢手術を実施してきた。

事業開始後5か年を経過したことから、地域猫活動の効果についての実態把握と、今後の活動支援の方向の検討を行うことを目的として指定地区の活動者及び住民を対象とした調査を行った。

2 調査結果の概要

(1) 活動者へのアンケート調査（聞き取り）

①目的・目標

- ・無料の不妊去勢手術が目的となっている 52%
- ・手術に対する支援期間の終了をもって解散している所がある

②猫やトイレの管理

- ・個体識別、個体管理：かなり悪い しかし 感覚的には「減った」85%
- ・エサ場の管理、給餌方法：「置き餌」41%
- ・トイレの管理、清掃活動：活動実態が見えない トイレ「減った」48%

③地域へのフィードバック

- ・「報告していない」及び「途中でやめた」67%

④継続性・持続性がない

- ・「続いていない」 22% 続けている所も給餌のみと言うところが多い
- ・資金集め 「活動者負担」のみ 33%
- ・活動者 「減った」70%

⑤総合評価

- ・全地域の活動者が「活動してよかった」

⑥その他要望事項

- ・支援期間の長期化・延長
- ・猫運搬の援助
- ・広報の充実

(3) 地域住民へのアンケート（ポスティング）

①活動を続けた方が「良い」 81%

②活動への参加意向は低い 「参加したい」 知らなかった人の17%
「参加したことがある」 知っていた人の12%

3 評価

- (1) 活動者、住民ともに活動全般には好意的
- (2) 不妊去勢手術以外の活動内容は不十分である
- (3) 指定後1年間で活動を軌道に乗せることができなかった地域が多くみられた

4 今後の支援の方向性

- ・地域猫活動開始前の準備段階で地域の実情に応じたより細やかな支援を行う
- ・具体的な助言，ルール作りの補助と活動の進行管理の補助

(1) 準備段階の支援の充実

- ①目的目標の明確化
- ②活動計画（ルール・予算含む）の立案を助言
- ③猫の個体や苦情の把握方法を助言

(2) 不妊去勢手術以外の活動の適正化・活性化

- ①適正化：餌やり，トイレ管理
- ②義務化：活動記録，報告
- ③活性化：譲渡・屋内飼育・猫害防止策，資金集め

(3) 不妊去勢手術の支援

- ①手術支援期間：現行どおり1年間とし，支援期間中に活動の自立を促す

5 今後の検討課題

- ・不妊去勢手術の費用負担のあり方について（無料実施の是非）